

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和6年度技術情報第13号(早期水稻の斑点米カメムシ類)について (送付)

早期水稻の斑点米カメムシ類について、下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導をよろしくお願いいたします。



なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/>) にも掲載しています。

令和6年度 技術情報第13号

早期水稻周辺のイネ科雑草地では、斑点米カメムシ類の発生が平年より多い状況です。出穂後は、ほ場内を確認し、発生が多く認められる場合は、適期防除を行い、被害防止に努めましょう。

- 1 対象病害虫** 斑点米カメムシ類 (クモヘリカメムシ, ホソハリカメムシ等)
- 2 対象作物** 早期水稻
- 3 情報の内容**
 - (1) 発生地域 早期水稻地帯 (県本土)
 - (2) 発生時期 出穂期以降
 - (3) 発生量 多
- 4 予報の根拠**
 - (1) 早期水稻周辺のイネ科雑草地で斑点米カメムシ類の捕獲箇所率は、70.5% (平年: 70.7%) と平年並みであったが、平均捕獲虫数は16.3頭 (平年: 4.6頭) で平年より多かった (表1)。
 - (2) 県全体における斑点米カメムシ類の程度別発生箇所割合は、中程度以上が27.3% (平年: 12.1%) と平年より高く、甚も認められ、過去5年間で最も高い (表1, 図1)。
 - (3) 種別構成比はクモヘリカメムシが59.7%と最も高く、次いでアカスジカスミカメ, ホソハリカメムシ, ミナミアオカメムシ, シラホシカメムシの順であった (表2)。
- 5 防除上注意すべき事項**
 - (1) 斑点米カメムシ類による斑点米の混入は米の検査等級格下げにつながり、特に早期水稻では品質低下の主な要因となる。
 - (2) 水田周辺の雑草地などが飛来源となるので、出穂の10日前頃までに畦畔の草払いなどのほ場管理に努め、発生密度の低下を図る。
 - (3) 毎年斑点米被害が多い地域では、穂揃期と穂揃期の7~10日後 (乳熟後期) の2回防除が基本である。特に乳熟後期の幼虫の発生には十分注意する。
 - (4) 防除は農薬の使用基準を遵守し、農薬がほ場外に飛散しないようにする。

6 参考データ

表1 早期水稻周辺のイネ科雑草地における斑点米カメムシ類の地域別, 程度別発生箇所割合(%)
(令和6年6月3日～4日)

地域	調査箇所数	捕獲 ^{注1)} 箇所率	平均捕獲虫数	程度別発生箇所割合(%) ^{注3)}					中以上の発生割合合計
				甚	多	中	少	無	
南薩	24	66.7	24.2	4.2	8.3	25.0	37.5	25.0	37.5
大隅	20	75.0	6.8	0.0	10.0	5.0	60.0	25.0	15.0
県全体	44	70.5	16.3	2.3	9.1	15.9	47.7	25.0	27.3
県全体 ^{注2)} 平均	52.8	70.7	4.6	0.4	0.7	11.0	58.6	29.3	12.1

注1) 捕獲箇所率(%)=捕獲箇所数/調査箇所数×100, 注2) 平均は過去5か年(2019～2023年)の平均値,

注3) すくい取り調査(捕虫網20回振り)の捕獲虫数を基準とし, 甚:61頭以上, 多:60～31頭, 中:30～11頭, 少:10～1頭, 無:0頭とした。

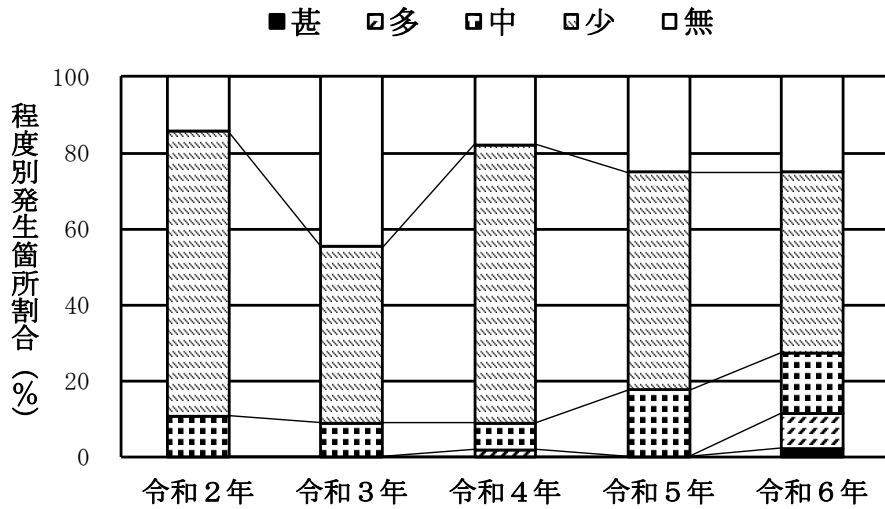


図1 早期水稻の周辺イネ科雑草地等における斑点米カメムシ類の程度別発生箇所割合の推移

表2 早期水稻周辺のイネ科雑草地における斑点米カメムシ類の地域別, 種類別捕獲状況
(令和6年6月3日～4日)

地域	調査箇所数	項目	クモハリ	ホリハリ	ミミアオ	シラホシ	イネ	アスジ	合計
			カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カスミカメ	
南薩	24	平均捕獲虫数 ^{注1)}	16.8	1.4	0.2	0.1	0.0	5.8	24.3
		捕獲箇所率(%) ^{注2)}	29.2	37.5	12.5	8.3	0.0	54.2	66.7
大隅	20	平均捕獲虫数	1.3	1.4	0.0	0.0	0.0	4.2	6.9
		捕獲箇所率(%)	30.0	45.0	0.0	0.0	0.0	65.0	75.0
県全体	44	平均捕獲虫数	9.8	1.4	0.1	0.1	0.0	5.0	16.4
		捕獲箇所率(%)	29.5	40.9	6.8	4.5	0.0	59.1	70.5
		種別構成比(%) ^{注3)}	59.7	8.4	0.6	0.3	0.0	31.0	100.0
県全体 ^{注4)} 平均		平均捕獲虫数	0.9	0.7	0.2	0.2	0.0	2.7	4.7

注1) 平均捕獲虫数=総捕獲虫数/調査箇所数, 注2) 捕獲箇所率(%)=捕獲箇所数/調査箇所数×100, 注3) 種別構成比(%)=捕獲虫数/総捕獲虫数×100

注4) 平均は過去5か年(2019～2023年)の平均値